

測るサービス+

EMC試験/ノイズ対策サポート

アンリツカスタマーサポート株式会社

「測るサービス+」の背景

近年、IoT/5Gの発展により、医療機器や自動車などの様々な機器に通信機能が搭載されるようになりました。しかしながら、通信機能の評価には専門的な知識を要し、且つ大規模な投資が必要という問題があり、多くのベンダーより評価環境の構築や測定/評価手法などについて支援を求める声を多くいただいていた。

そこで、測定器のレンタル/システムアップを専門とする協働パートナーと共同で、製品の性能評価のために必要な環境構築から、データ分析、改善提案までをトータルでサービス提供を行います。

「測るサービス+」の概要

お客様の製品の性能/品質をどういう切り口で評価するのが適切なのか？正しく測定/評価するには高度な専門知識が必要な場合が多くあります。そこで、当サービスでは、最適な機材/測定方法/分析方法により「答え」として「製品の評価結果」をご提供致します。そこから、ご要望に応じてお客様の製品開発プロジェクトを測定/評価の面でのご協力や、測定/評価スキル習得のご支援まで、幅広くサポート致します。

また、お客様のプロジェクト進捗に応じて、開発/測定/評価環境の追加/返却/更新をフレキシブルにアレンジすることができます。



協働パートナー

受託測定

- 計測のプロによる測定/評価
- 製品品質向上に関するコンサルティング

環境構築

- 大規模な評価環境も資産化せず期間利用可能



モバイル機器



交通



医療機器

様々な分野で測定器を利活用

サービス事例：EMC対策サポート

電子機器を商品化する際、その製品が放射する電磁ノイズが他の機器に影響しないか、または外部からの電磁ノイズの影響を受けないかを試験し、合格する必要があることが各国の法令で定められています。この試験をEMC試験と言います。当サービスでは、EMCノイズ対策に必要な手法を、それぞれの開発段階に応じて提供致します。

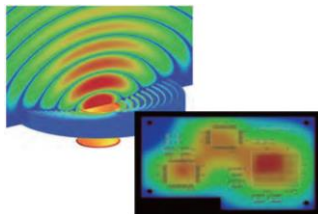
開発プロセスと提供サービス例

シミュレーション

シミュレータを使用し、デバイスの様々な特性を測定し設計に活かします。またIC や半導体デバイスのSPICE (Simulation Program with Integrated Circuit Emphasis)モデルを作成することで電界/磁界の解析に最適なCAE (Computer Aided Engineering tool) ツールなどを使用し、基板設計/伝送線路解析等のサービスをご提供します。



設計



シミュレーション



フィードバック

開発/試験環境のコーディネート

開発フェーズにおけるノイズ対策に必要な測定器、シールド環境などを、お客様の製品や開発規模などに応じてコーディネート致します



デバッグ支援

電磁ノイズの評価結果から、ノイズ発生源の特定方法や対策方法についてご提案させていただきます。



電磁ノイズ測定



ノイズ発生源の特定



ノイズ対策方法の提案

EMC試験実施

- ✓ NVLAP認定、FCC認定、VCCI登録サイトとしてテストレポートを発行いたします。
- NVLAP Lab Code : 200550-0
- VCCI登録番号 R-11044、R-11045、C-11096、C-11097、T-11978、T-11979、G-10047、G-10048
- FCC 認定番号 JP5002

無線機器の各種認証

- ✓ 第三者認証を行っている機関と協働し、各種認証取得に向けた技術コンサルティングのご提供も可能です。



APC-F1ZR04-23043

アンリツカスタマーサポート株式会社

<https://www.anritsu.com/ja-jp/anritsu-customersupport>

営業計画部 営業チーム

TEL : 0120-214-012

Email(サービス全体): APC-sales@anritsu.com

Email(はかるサービス専用): hakaru_service@anritsu.com

受付時間

月曜日～金曜日(当社休業日を除く)

9:00～12:00, 13:00～17:00

xx0123_Xxxx Xxxxxxx-J-A-2-(1.00) 2015.6 xxxx/xxx CDT



ホームページ